

大阪大学「地域情報活用法」の集中講義を行いました！

平成 29 年 6 月～7 月、大阪大学 CO デザインセンター※¹の集中講義「地域情報活用法」の講師を CFK 社員 3 名が務めました（4 日間、15 回講義）※²。まち・みちづくりの現場において、一般市民とコミュニケーションを行う際に用いる各種データの検索方法、分析方法、データ表現方法等の基礎を教えるとともに、グループワークを通じて実践的な演習を行いました。

過去 2 回の集中講義と同様、在学生と社会人学生が混じった多様な受講生が集まりました。過疎問題に取り組まれている文学部人文地理学専攻の学生さん、地方行政に興味を持つ法学部の学生さん、デザインによる地域コミュニティづくりで起業された社会人学生の方など多種多様です。みなさん、熱心に受講されました。

今回は 3 回目ということもあり、これまでの経験を活かして授業を進めことができました。地域課題を整理し仮説を立ててデータ分析を行うプロセスや、様々なオープンデータの取り扱い方、データリテラシー面で気をつけることなど、コンサルタントならではの実践的ノウハウを教えました。また、われわれ建設コンサルタントの仕事についても紹介し、グループワークを通じて社会インフラに携わる仕事の大切さ・面白さを伝えられたと思います。



※¹ 大阪大学 CO デザインセンターは、「知と社会の統合」を目指す大阪大学の新たな教育研究拠点です。

※² 本取り組みは、平成 27 年度に大阪大学コミュニケーションデザイン・センターと建設コンサルタンツ協会近畿支部が連携協定を結び、その一環で始まったもので、今回が第 3 回目になります。担当教員は、森栗教授、板倉特任教授、土井特任教授、辻特任助教（以上、大阪大学）で、CFK からは白水、中矢、松島が講師役を務めました。